

あかの民商ニュース

2025年度阿賀野市予算要望

命とくらしを守る阿賀野市政をすすめる会（民商含む）と日本共産党阿賀野市議会議員団は、阿賀野市へ2025年度予算要望と懇談を行いました。

民商としては左記の要望し、市からの回答を得ました。

要望

国保人間ドック利用料を市一般財源繰入で引き下げること

回答

集団健診における特定健診と各種がん検診の助成額と同程度であるべきと考えており、一般財源を繰り入れての増額は考えてない

要望

国保税の子どもの均等割廃止を国に求めるとともに、市一般財源を繰り入れて18歳以下の均等割を廃止すること



回答

子どもの均等割については、市長会から国へ継続して要請を行っている。市独自の軽減制度を創設するのではなく、国の医療保険制度の在り方を検討する中で議論され、負担軽減が図られるべきと考えている。

要望

住宅リフォーム支援事業の再利用可能10年以上を5年以上に引き下げること。補助金額を15万円から30万（創設時）に引き上げること

回答

再利用可能な年数を短縮することは考えていない。また、補助金額の引き上げについては、申請件数の増加や多世代世帯に対する100万円の加算もあることから、考えていない。

要望

商店・事業所版リフォーム助成事業の創設を

阿賀野民主商工会
阿賀野市南安野町一・三八
☎〇二五〇・六二・七一五八

NO 1969

商売くらしに役立つ！
全国
商工新聞
月/500円

回答

商店・事業所の事業施設等へのリフォーム支援は考えておりません。

要望

煩雑な実務など零細業者ほど負担が増える、インボイス制度の中止を国に要望すること

回答

中止を要望する考えはありませんが、多くの中小業者に影響が及ぶことから、円滑な展開が図られるよう今後の動向を注視してまいります。

要望

現行の健康保険証は、今後も使用できることを広報等で市民に知らせること

回答

広報による周知を回実施するとともに、今後、広報お知らせ版において、改めて周知する予定。また窓口におけるチラシ配布などによる周知も継続的に実施する。

確定申告にむけ

各種書類の確認を！

- 健康保険の証明書（国保等）
- 国民年金控除証明書
- 生命保険控除証明書（生命・年金）
- 地震保険控除証明書（地震・長期損害）
- 源泉徴収票（給与・年金等）
- 医療費の証明書（確認できる通知書・領収書）
- 住宅借入金控除（金融機関残高証明書・申告書）
- 生命保険（満期になった場合・通知書・解約も含む）
- 確定申告の通知書又は封書（税務署から）

